みずき便り

Mizuki Dayori

NO.33
2019.12

未来につなごう!
広域水道設立50年

50th anniversary

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団　広報誌

子ども座談会

飯泉取水施設で水道について考えよう

沈砂池入り口の新型除塵機。取水口から入ってきた木の枝や大きなごみを取り除きます。

子ども座談会

飯泉取水施設で 水道について考えよう

令和元年5月に設立50周年を迎えた神奈川県内広域水道企業団（以下、企業団）。半世紀にわたって、安全・安心な水道水を安定してお届けし、県・市民の皆さまの暮らしを支えています。

今回は小田原市の飯泉取水施設を訪れ、そこを見学しながら、水道の大切さや、大切な水を守るためにどうしたらいいのか、また、これからの水道について小学生レポーターが話し合いました。参加してくれたのは設立50周年記念「水道作文コンクール」で入賞された小学生3人とそのご家族です。

写真は、飯泉取水ぜきがある酒匂川

大きな取水施設や水質管理の技術に驚きました。学んだことをみんなに伝えたいです。

湯河原町立湯河原小学校 6年
小川 湖子さん

案内してくれた人

今回の先生は飯泉取水管理事務所のみなさんです。

技術部飯泉取水管理事務所長
勝山 志乃さん

施設管理担当 主査
槙 暁史さん

取水管理担当 技師
柴田 哲さん

水質管理担当 主任主査
大島 茂さん

総務担当 副主幹
長澤 幸治さん

酒匂川は、富士山や丹沢山地が源流で、県内で2番目に大きな川です。

飯泉取水施設では、酒匂川の上流に造られた三保ダムで貯めた水を、河口から2.3km上流で酒匂川の水を取水しています。ここで取水された水は伊勢原、相模原、西長沢の各浄水場に送られ、水道用水となって、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市へ送られています。

川崎市立富士見台小学校 5年
稲田 凜香さん

〔導水管（備蓄材）〕
敷地内にある導水管。災害など緊急時に使います。内径が3.1mもあります。

〔取水ぜき管理橋〕
飯泉取水ぜきは、長さ342.5m、供用開始は昭和49年4月。全部で9門のゲート、魚道があります。

〔導水ポンプ室〕
取水した川の水を、4台あるポンプを使って浄水場まで送ります。

見学を終えて、何か質問はありますか？

大切なのは、川の環境を守ることだと思います。そのためにどのようなお仕事をされていますか？

川の生き物たちのために魚道やビオトープをつくったり、「みずきフェスタ」などのイベントで、「川の水を汚さないようにしてください」と皆さんに伝えたりしています。水源のごみ拾いなんかにも参加しているんですよ。

安全な水道水をつくるために、どんなことに気をつけていますか？

水道水には、国が定めた「水質基準項目」が51項目ありますが、どのような状況でもこの基準を守るため、常に水質を管理しながら水を処理しています。また、新しい問題がないかどうか情報を集めたり、日々の勉強も欠かせません。

今日、飯泉取水施設を見学して、何か新しい気付きや発見、感想はありましたか？

災害への備えを見て、どんな状況でも安全で安心な水を届けるためにいろいろ準備をしていることが分かりました。

ここ小田原市で取った水が、川崎市まで届けられていることを知って驚きました。

川の水が水道水になるまで、川のごみを取り除いたり、水質検査など、たくさんの人の努力があるんですね。

私たちの暮らしや社会のために水道にはどんな役割があるでしょうか？

水道は、私たちの生活に欠かせないもの、私たちの生活の手助けをしてくれていると思います。

大きな台風のときに、断水をすごく心配しました。水道は、衛生的な生活を保つためにも大きな役割を果たしていると思います。

当たり前のようにしている手洗いやうがいも、水道があるからできると感じました。

水道（水）を守るため皆さんは、また、社会全体ではどうすればいいと思いますか？

私は、川を守る環境のことを作文に書きました。みんなが楽しみながら森林を守る活動などに参加する社会になればいいなと思っています。

無駄使いをなくす！私も水源林を守ることが大切なのではないかと思います。

今日の見学で油などを川に流してしまうと水道水にするのが難しいことを知りました。水を汚さないことが大切だと思います。

みなさんは、未来の水道はどうなると思いますか？ または、どうなってほしいです？

今回の作文コンクールをきっかけに、水道について考えました。その中で世界

横浜市立平沼小学校 5年
前田 夏凜さん

企　業　団　N　O　W

≪水道企業団ニュース≫
～安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて～

綾瀬浄水場見学イベント

8月24日に、『綾瀬浄水場 水の旅見学ツアー～この夏1日限り』を実施。普段入ることができない、地下の管廊を通って施設を巡るスペシャルツアーに参加された方からは「普段見ることができない場所に入れてワクワクした」と楽しむ声が聞けました。また、かながわ考古学財団と連携し、綾瀬浄水場近隣の吉岡地区から出土した石器の展示や講演会を行った他、浄水処理実験や事業紹介DVDの上映、水鉄砲づくりなど、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

三ツ境本庁舎見学イベント

設立50周年記念イベントとして、9月14日（土）に三ツ境本庁舎見学会を開催しました。当日は、近隣にお住まいの方々が来場。災害対策室や議場、水運用センターの鉄塔や小水力発電を巡り、クイズに答えながら施設を巡るウォークラリーに参加したり、施設について説明する職員の話に、熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。

施設の一角では、子ども向けのアトラクションとして河川清掃の模擬体験で企業団グッズの景品をゲットしたり、ストーン・ペイントでお土産づくりをしたりと、楽しんでいただけました。

台風被害に伴う応援

9月9日の台風15号、そして10月12日の台風19号による被害で断水が発生した地域も少なくありません。台風15号では、千葉県で一部断水が発生。当企業団と千葉県にある「かずさ水道広域連合企業団」は災害協定を締結しており、「給水袋」の応援要請を受けたため、支援を行いました。台風19号により断水が発生した清川村からは、応急給水の要請があったため、当企業団の伊勢原浄水場に来場した自衛隊や県内の水道事業者の給水車への応急給水を行いました。応急給水を行う際には、日頃の訓練と同様の体制のもと、残塩・臭気・濁度の水質試験を行い、問題がないことを確認し、給水を行いました。

〔管理室〕
取水量のコントロールや設備の運転管理を行っています。管理室は24時間365日、休むことがありません。

〔浄水処理実験〕
水質検査室でPAC（凝集剤）を使って水の汚れを集めて沈でんさせる実験を見学しました。右が実験前、左が実験後。

には安全でおいしい水を飲める国が少ないことを知りました。日本の取水や浄水の技術を教えてあげることで、どの国でも安全な水が使えるような未来になって欲しいと思います。

そして、みんなが水の大切さを理解することで、地球全体の環境も守られていくことが大切だと思いました。

今回は、私たちも仕事について考えるいい機会になりました。みなさんどうもありがとうございました。

小学生レポーターからのするどい質問に、座談会も白熱！

設立50周年記念式典を開催！

神奈川県内広域水道企業団は令和の幕開けと同日の５月１日に設立50年を迎えました。これを記念して、『設立50周年記念式典』を「はまぎんホール・ヴィアマーレ」にて11月22日（金）に開催し、構成団体や水道関係者など約350名の出席がありました。

冒頭、黒川企業長から、『企業団は構成団体と一体となって、令和新時代に相応しい最適な水道システムを構築し、県民・市民の皆様に、引き続き、安全で安心な水道用水の安定供給に努めていきます』とのあいさつがあり、続いて、黒岩神奈川県知事、福田川崎市長、松田企業団議会議長、熊谷厚生労働省水道課長、乾総務省公営企業経営室長、吉田日本水道協会理事長、小林全国水道企業団協議会会長からの来賓あいさつや来賓紹介がありました。

あいさつをする黒川雅夫企業長

その後、永年にわたり企業団事業に貢献のあった、三保ダムふるさと会の佐藤会長と、横道監視抗慰霊碑の清掃で協力をいただいた近藤さんへの感謝状の贈呈、50周年を記念して実施した、県内小学生の「水道作文コンクール」で最優秀賞を受賞した小川湖子さんによる作文の朗読、佐藤技術部長による事業経過報告がありました。

感謝状の贈呈（左が佐藤会長、右が近藤さん）

最後に、東洋大学大学院客員教授の石井晴夫先生による記念講演が行われ、盛会のうちに式典が催されました。

小川湖子さんの作文朗読

〈シリーズ〉
水源のまち・流域のまち

Vol.6
愛甲郡 清川村

12月…。この季節になると清川村はクリスマス一色に染まります。

清川村の代名詞となったイベント「宮ヶ瀬クリスマス みんなのつどい」は今年で34回目を迎えました。11月23日から12月25日のクライマックスまで、さまざまなイベントが繰り広げられています。中でも、高さ30mを超えるジャンボクリスマスツリーを中心としたイルミネーションはまさに光のメルヘン、宮ヶ瀬湖畔が幻想的な世界に変わります。数多い首都圏のクリスマスイベントの中でも、高い人気を誇っています。

愛甲郡清川村は神奈川県の北西部に位置し、面積はおよそ71.24㎢、人口2,942人（2019年11月30日現在）、県内唯一の村として知られています。面積の約90％を山林が占めており、戦前までは林業が基幹産業となっていましたが、現在は就業人口の約7割（平成27年国勢調査）が第3次産業に従事しています。

清川村と神奈川県内広域水道企業団とは極めて強い絆があります。神奈川県民の水がめ「宮ヶ瀬ダム」の存在です。2000年に完成した宮ヶ瀬ダムは、清川村、相模原市、愛川町にまたがる中津川（相模川支流）上流部に建設省（現在の国土交通省）によってつくられた多目的ダムです。ダムによってできた「宮ヶ瀬湖」の面積は4.6㎢、貯水量は約2億トン、芦ノ湖に匹敵します。ダムで貯水され、計画的に放流された水は相模川を経て企業団などの手で取水され、暮らしに欠かせない水道水として、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市など15市5町に送られます。

村内全域が丹沢大山国定公園と神奈川県立自然公園に指定される清川村。モミの原生林やブナ林に育まれた清流が、四季折々の美しい景観を楽しませてくれます。「別所の湯」はその清流を汲み上げ湧かした温泉で、熱めのお湯が体を癒してくれます。そのほか、「丹澤みそ」、「清川恵水ポーク」など、清流の村清川ならではの特産品も人気です。

「山に生きるこの村は、ますます山林の緑化に努め、水源をかん養し、もって中津川、小鮎川の自然の清らかさをとこしえに保つ（後略）」という村名の由来にふさわしく、清川村では、今、その将来像である「～水と緑の心の源流郷～きよかわ」を実現するため、村民一体となった村づくりが進んでいます。

光のメルヘン「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」

県営水道キャラクター
カッピー

神奈川県企業庁

冬のイベントは水道記念館で !!

水道記念館は昭和11年から神奈川県営水道のポンプ所として活躍していた建物で、館内には水を使ったゲームや水道の歴史が展示されており、外には水の広場があり、広い芝生でお弁当を食べることができます。

令和元年12月1日から25日まで、毎年人気のクリスマスカードを作って、館内のツリーに飾るイベントを、また1月4日から13日まで、オリジナルおみくじイベントを行います（いずれも無料です）。

ぜひ気軽に遊びに来てください。

＜水道記念館＞住所／高座郡寒川町宮山4001
開館時間／9：30～16：30　☎0467-74-3478
休館日／月曜日（ただし月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～ 1月3日）、2月第4週の月～金曜日
入館料／無料

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

横浜市水道局

横浜市水道料金等在り方審議会から答申をいただきました

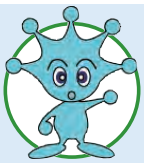
平成30年４月に設置した横浜市水道料金等在り方審議会では、水道施設の老朽化や料金収入の減少など、水道局が直面している厳しい現状を受けて、本市にふさわしい水道料金等の在り方をご審議いただいてきました。

滝沢会長（右）から答申をいただきました

このたび、８回にわたる審議会を経て、令和元年９月27日（金）にその内容をまとめた答申を審議会からいただきました。

今後は、答申に対する横浜市の考え方を整理し、市会での説明やいただいたご意見を踏まえて、今年度末までに方向性を取りまとめていきます。

横浜市水道料金等在り方審議会　検索



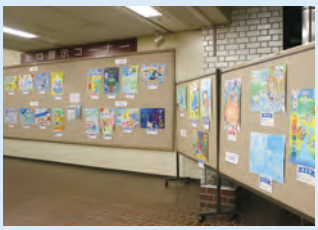
横須賀上下水道
イメージキャラクター
アクアン

横須賀市上下水道局

水のポスター
すばらしい作品が集まりました

横須賀市上下水道局では、子どもたちに水への関心や親しみを持ってもらうために、毎年夏休みの課題として市内在住・在学の小学生を対象に「水のポスター」を募集しています。今年は44校、2,423点の応募がありました。

表彰式



ポスター展

その中から、学年ごとに最優秀賞１点、優秀賞３点、佳作10点を選びました。今後は横須賀市上下水道局の広報活動などにも使用させていただく予定です。

なお、最優秀賞、優秀賞についてはホームページで公開しています。

どの作品も、子どもたちの一生懸命さが伝わってくるすばらしい作品ばかりです。ぜひご覧ください。

横須賀　水のポスター　検索

川崎市上下水道局
キャラクター
ウォータン

川崎市上下水道局

開設不要型応急給水拠点の整備
～学校の水飲み場を利用した応急給水拠点～

学校の水飲み場を利用した応急給水拠点（開設不要型応急給水拠点）は、大きな地震のあとでもすぐに水が使えるように、配水池・配水塔から学校の水飲み場までを地震に強い水道管でつなげたものです。非常時に、給水器具の設置などの手間がなく、そのまま水飲み場を利用することができるため、迅速に応急給水を行うことができます。

避難所に指定されている全ての市立小中学校を対象に、水道管の耐震化と併せて令和5年度末までに整備を完了させる予定です。

整備が完了した水飲み場と
PR看板

川崎市 開設不要型応急給水拠点　検索

平成30(2018)年度 決算の概要

■水道水の供給先（構成団体）
神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市

■構成団体への供給水量実績

年間総供給水量

1日平均供給水量　1,299,915㎥

■事業計画の着実な実施

水道用水の効率的な安定供給
施設老朽化対策ほか　約61億円

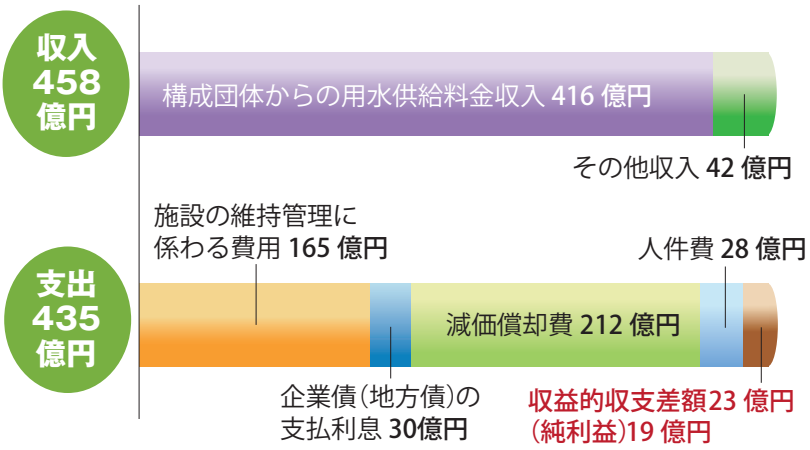
災害や事故に強い広域水道
地震対策ほか　約7億円

■経営基盤の強化

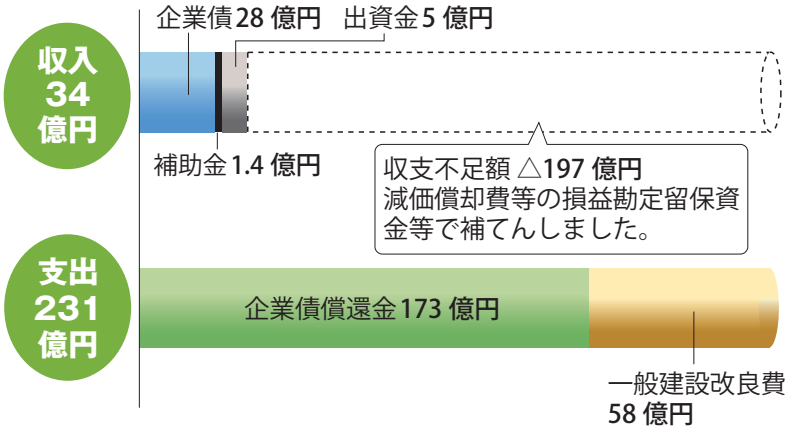
健全な財務体質の維持・改善（収益的支出の抑制、企業債（地方債）残高の縮減）。組織の活性化と人材育成の強化・充実（職員研修及び他団体との人事交流の促進）。

※詳しくは下記神奈川県内広域水道企業団のホームページをご参照ください。

水道水の生産に関する決算
収益的収支（消費税込み数値）



施設の建設・改良に関する決算
資本的収支（消費税込み数値）



※グラフ中の数字は端数処理のため、計において一致しない場合があります。

「水あれこれトーク」は今回お休みします。

プレゼントコーナー

「みずき便り」読者の中から、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみの雫」340mℓ缶1ケース（24本入）をプレゼントします。ご希望の方はハガキ、FAXまたはメールで、住所／氏名／電話番号／年齢／職業／今号の内容へのご意見・ご感想／今後取り上げてほしい課題やテーマを明記の上、下記までお寄せください。

応募締め切り：令和2年1月31日（金）必着　※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募先：〒231-8445　横浜市中区太田町2-23神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみの雫プレゼント」係　FAX 045-227-0765　Eメール kokoku@kanagawa-np.co.jp

●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0737 までお願いいたします。

リニューアル

《編集後記》

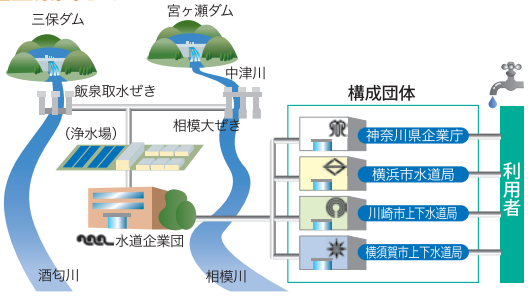
今号は、前号に引き続き「設立50周年記念事業」に関連したシリーズの第２回目です。

今回取材した「飯泉取水施設」は今年で施設完成から46年目になり、みずき便りで初めて取り上げました。

水道作文コンクールの受賞者である小学生レポーターたちも、座談会を通して水道について改めて考えるきっかけになったのではないかと思います。これからの将来を担っていく子どもたちが、今後も水道事業への理解を深めてくれることを期待しています。（総務・広報係）

神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。



発行／令和元年12月 神奈川県内広域水道企業団
〒241-8525 神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地
TEL.045-363-1111（代表）　FAX.045-363-1121
https://www.kwsa.or.jp　神奈川企業団　検索